

# 防火断熱工法

用途：ベランダ・バルコニー・陸屋根  
防火地域・準防火地域及び建築基準法第22条地域対応  
国土交通大臣認定仕様（飛び火試験合格）

## FP-DR 20 防火断熱工法 2プライ仕様 露出軽歩行用(フラット仕上/ノンスリップ仕上)平均膜厚3.0mm

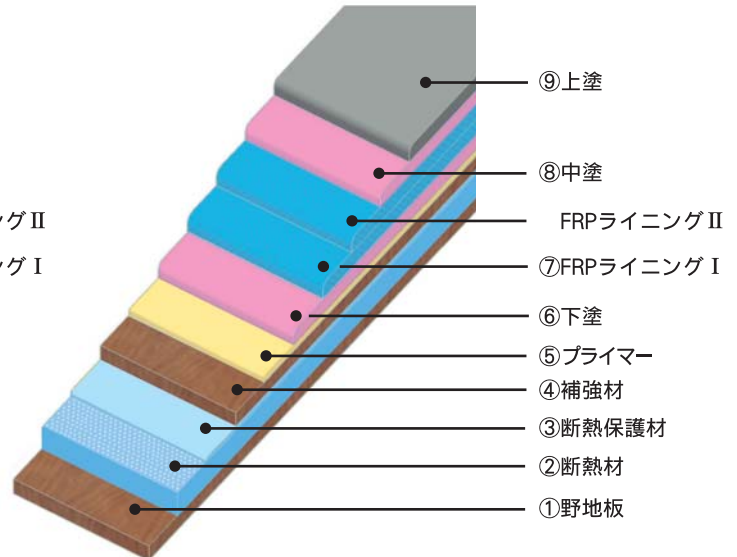
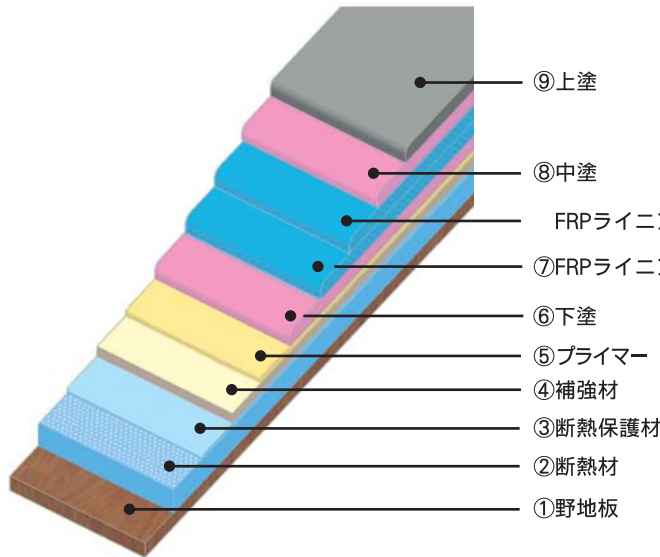
FRP防火断熱工法は、断熱材を使用することにより防水層の急激な温度変化を緩和し、室内を快適に過ごすことができます。

### 補強材Ⅰ：セメント板の場合（ページ⑨参照）

認定番号 DR-1638 下地(支持部材 木製)の場合  
認定番号 DR-1642 下地(支持部材 鋼製)の場合

### 補強材Ⅱ：木質系ボードの場合（ページ⑨参照）

認定番号 DR-1637 下地(支持部材 木製)の場合  
認定番号 DR-1641 下地(支持部材 鋼製)の場合



注意：①シーリング不足は防水材(有機溶剤)で断熱材を溶かし空洞化する恐れがあります。

②断熱材の熱変形を軽減するため、上塗には遮熱トップコートPC-009TP(NS)遮熱グレーをお勧めします。

施工工程	使用材料	塗布量(kg/m <sup>2</sup> )	施工方法
① 野地板	木質系ボード:JAS構造用合板9mm以上 下地は十分乾燥(含水率9%以下)させます。新設コンクリートの養生期間30~45日です。 ※下地(コンクリート系):鉄筋コンクリート50mm以上の場合、野地板及び補強材は必要ありません。		
② 断熱材	断熱材10~100mm(ポリスチレンフォーム保温板) 規格:密度20kg/m <sup>3</sup> 以上(JIS A9511)		
③ 断熱保護材	当社指定ポリエステルフィルム(SPV-AM-500)で断熱材の表面に貼り付けシーリングします。 ※防水材(有機溶剤)で断熱材が溶けるのを防止します。		
④ 補強材	I.セメント板:繊維混入けい酸カルシウム板9mm以上 規格:建設省告示第1400号(JIS A5430) II.木質系ボード:JAS構造用合板9mm以上 ※IもしくはIIを使用し、ビス等で野地板まで動かないように固定します。詳細は別途「認定書」参照 下地は十分乾燥(含水率9%以下)させます。表面のホコリ・泥・砂・油等は除去・清掃します。外Rは、6R以上に面取りします。		
目地・端部処理	FRPラップテープで目地部分をシーリングします。QコートパテEもしくはウレタン系シーリング材で端部・ビス部分を穴埋めシーリングします。 ※シーリング不足は防水材(有機溶剤)で断熱材を溶かし空洞化する恐れがあります。		
⑤ プライマー	バイオニヤシーラー#100	0.3	ローラー・刷毛で塗布します。
不陸調整	QコートパテE		凹凸・クラック部を充填します。内Rは、10R以上にパテ埋めします。
⑥ 下塗	ポリキュートPC-640FXT	0.8	FRPローラーで塗布します。
⑦ FRPライニングⅠ	ポリキュートPC-640FXT	0.5	FRPローラーで塗布します。 直ちにガラスマット#380を敷設し(重ね代50mm確保)、 FRPローラーで塗布含浸させた後、脱泡ローラーで脱泡します。
	ガラスマット#380	0.38	
	ポリキュートPC-640FXT	0.4	
FRPライニングⅡ	同上	同上	同上
点検・補修	浮き・膨れの発生したFRPライニング層は、カッターやディスクサンダー等で切り取り、⑦の工程で部分補修します。		
⑧ 中塗	ポリキュートPC-640FXT	0.5	FRPローラーで塗布します。※着色可
FRP層調整	FRP層表面の凹凸・毛羽立ち等をディスクサンダー・サンドペーパー等で除去し、平滑にします。		
⑨ 上塗	防水トップコートPC-008TP	0.4	FRPローラーで塗布します。

\* 勾配は1/100以上とし、水がたまることなく速やかに排水できるようにして下さい。

\* 断熱材は圧縮強度、熱変形温度等を考慮して選定してください。

\* QコートパテE・ポリキュートPC-640FXT・防水トップコートPC-008TPには硬化剤が必要ですので、可使時間にあわせて硬化剤を0.6~3.0%添加後、十分に攪拌して使用して下さい。

\* 下塗、FRPライニング・中塗用の樹脂には別品番ポリキュートP-2・ポリキュートPC-660FXも使用可能です。

\* 上塗には、防水トップコートPC-008TP-NS(ノンスリップ)タイプもあります。

\* 必要に応じ脱気筒の使用を検討下さい。